

# ALPHARD Executive Lounge



## Specification

### ダンパーZZ-R●価格未定

- 開発車両:40アルファード・エグゼクティブラウンジハイブリッド(4WD)
- ダウン量:約30mm
- パネレート:F:6.5kg/mm、R:9.5kg/mm
- 機能:全長調整式、減衰力32段階調節機能、車高調整

試作中となるダンパーZZ-R。全長調整が可能で減衰力は32段階調節付き。ストローク量を十分に確保し、下げてもワンランク上の乗り心地を実現。ダストブーツは開発中につきカットされている



### 純正リアスプリングと比べてみた!



純正と比べて若干、線径を太くしてピッチを広く成形。純正同様の樽型形状を採用して、乗り心地と耐久性を確保している。開発時のパネレートは9.5kg/mm

### 従来の機能性をしっかり継承する



減衰力は32段階調整が可能。メーカー推奨は16段で、自身の好みでハードにもソフトにも乗り心地を変更することができる。スペックDSCも現在開発中

高剛性と軽量化を両立するアルミ鍛造製アッパーマウントを採用。新設計スラストベアリングにより、耐久性と静粛性に優れる。安心して長く使える

### 30アルファード用と比べてみた!



30用スプリングと比べて、40用の形状は樽型に近くなっている。おかげで路面からの一発目の入力がマイルドに。タイヤハウス内のクリアランスも十分に確保済み

### 30mmダウンのローフォルムを実現

デモカーのダウン量は30mm。開発途中のため車高調整幅は不明だが、全長調整式を採用するためもう少しは下げられるかも。純正17インチ装着でも十分に低い



## IMPRESSION

純正で感じるフワフワした感じがなく、引き締まった走り味が楽しめるデモカー。ダウン量は30mmだが、この少しの差がかなり大きい。ステアリングから感じる応答性もはっきり良くなった



早ければ年内発売もある!?



ブリッツ  
埼玉俊起サン

「まずはアルファード用ZZ-Rの開発がスタートし、同時にスペックDSCの開発も進めています。そしてこの後、ヴェルファイア用を開発予定です。発売までもう少しお待ち下さい」



人気の車高調  
ダンパーZZ-Rの開発がいよいよ最終局面!  
発売までもう少し

アルファードのエグゼクティブラウンジ・ハイブリッド・4WDを開発を進めているダンパーZZ-Rが完成まであと少し、最終局面を迎えている。「30の時はかなり開発に苦労したので、そのノウハウが今回は生まれました。あとは細かい味付けを確認して最終チェックとなる予定です」と塩谷サン。味付けの方向性を聞くと「純正の良さを生かしつつスポーティに」という。そこで「純正の良さを生かす」とはどういうことなのか? 「純正

のデキがかなり良いんです。さすが最高級ミニバン。とはいえ一人で高速を走ってみると、フワフワした感覚が続くし、ステアリングの応答性も少しダルい。そのあたりを改良し、ローダウン時の乗り心地に反映しています」。また同時に、車内から減衰力を変更できるスペックDSCの開発も進行中だ。気になる発売時期は、早くても年内予定。まずはダンパーZZ-Rから、続いてスペックDSCとなる予定。リリースまでもう少し待て!

ブリッツ  
**BLITZ**  
ブリッツサポートセンター  
tel.0422-60-2277

やりたい!

ホイール

D-RACKS&KAYAKA  
LOWDOWN & SUSPENSION

電子制御  
ELECTRONIC

パーツ  
PARTS